



## 石狩川流域のナマズに就て

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2012-11-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小林, 弘, 安達, 栄徳 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.32150/00000484">https://doi.org/10.32150/00000484</a>

## 石狩川流域のナマズに就て

小林 弘・安達栄徳

北海道学芸大学旭川分校生物学教室

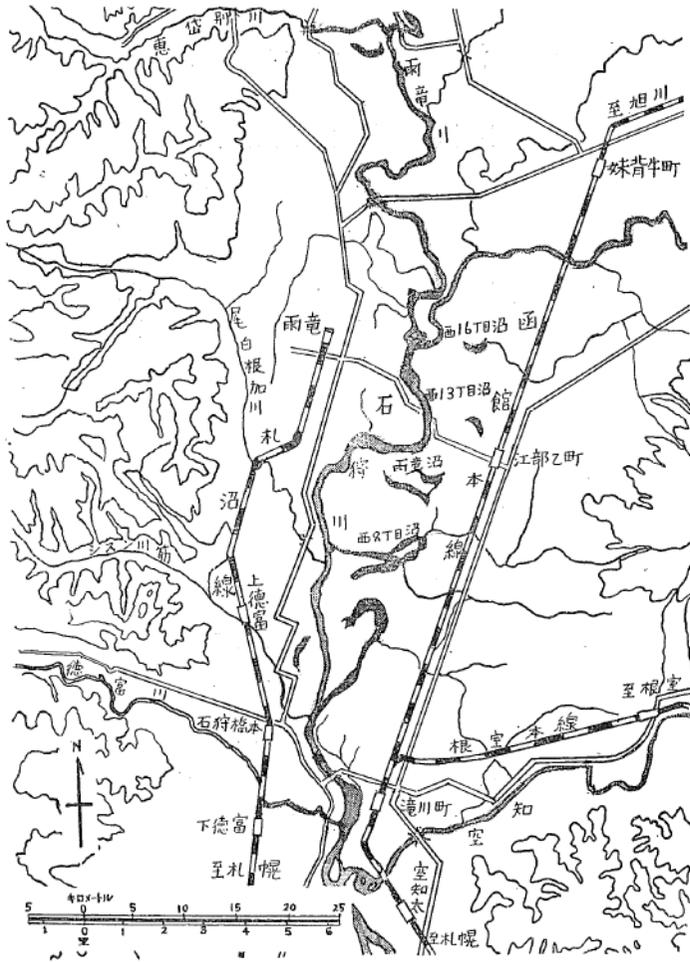
Hiromu KOBAYASHI, Eitoku ADACHI : On the catfish, *Parasilurus asotus* (Linné), of the lower region of the river Isikari, Hokkaido.

本邦に於けるナマズの分布に就て、現在まで発表されて来た魚類関係の著書、論文の多くは、田中(1928)、岡田(1955)の如く、単に日本々土または本州と記したものと並びに、岡田、中村(1948)、岡田、松原(1938)、松原(1955)等の如く、明に北海道を除く本州各地と記載したもの等が認められ、これらは何れも北海道に於けるナマズの棲息を認めていない。更に岡田、池田(1938)の北海道産淡水魚の Fauna に関する研究に於てもナマズに関する何等の記載も認める事が出来ない。しかし近年、佐藤、小林(1954)は函館地方の松倉川と五稜郭公園の池より本種の採集された事実就て報告して居り、斎藤、横井(1955)は道北地方に当る剣淵地方の剣淵川及び音無川より本種を4個体採集し、これらの中全長12cmの1個体は変態前の仔魚で3対の鬚を備えていたと報告している。以上の2報告よりすれば現在北海道にナマズの棲息する事は明白であり、しかもこれらの中に於て繁殖すら行われて居るのではないかと考えられるが、上記2報告とも採集個体数が少く、棲息地、棲息状態等の観察も不充分であつたためか、未だ本州の研究者の間には北海道にナマズの棲息する事実就て十分な認識を得られていない様に思う。筆者等はしばしば石狩川本流に於てナマズの捕獲される事を、一般釣人より伝え聞いて来たが、1956年石狩川流域の江部乙地方に本種の多数棲息する地域の存する事を知り、同年及び翌'57年の2ヶ年間に亘り、当地方に於ける本種魚類の調査を行つた。その結果多数の標本を得ると同時に、本種魚類の棲息状態の一端を知る事が出来たので、以下にこれらの事実就て報告する。

稿を進めるに先だち、本種魚類採集に終始御協力を賜つた江部乙町北辰中学校教諭伊藤勝治氏並びに宝利十郎氏に心からなる謝意を表する。

**棲息地** 本調査を行つた江部乙町地方は石狩川流域に当り、凡そ石狩川河口より120km遡行した地点にして、嘗て石狩川は妹背牛地方より当地を過ぎ滝川地方に到る間で極度の蛇行をくりかえして居たものゝ如くで、この地域の石狩川が現在の如き流れに改修されたのは昭和13、4年頃と聞いている。しかし改修後も嘗ての蛇行部は旧川或は沼として残され、現在妹背牛、滝川間の石狩川周辺には西十六丁目沼、西十三丁目沼、雨竜沼、西八丁目沼等の名で呼ばれる数多くの沼が存して居り淡水魚の棲息に好適な所となつている。これら沼の中あるものは出水時石狩川本流に連絡する如き状態に現在もおかれていた。筆者等が本調査に於て主に採集を行つた沼は、これらの中西八丁目沼で、沼の周囲は水田で取囲まれ、多くの灌漑溝がこの沼に流入していた。沼は略馬蹄形をなし、その一部で石狩川本流と連絡し、沼の周縁は浅く、葦その他の水辺植物が密生していた。

**採集結果** '56年4月に妹背牛よりの西十六丁目沼より全長20cm前後のもの2個体が採集され、その後西八丁目沼より、7月より8月に亘る間に全長65.3cmのもの1個体、45~50cmのもの8個体、

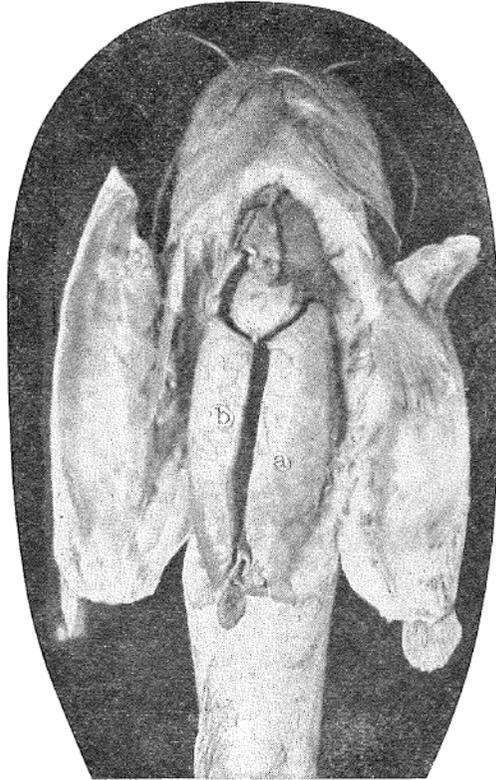


第1図 採集地略図

30cm前後のもの3個体、10~20cmのもの7個体が採集され、9月には20cm以下の仔魚90個体が採集された。更に同地域に於て翌'57年7月14日に全長4cm前後の仔魚2個体、同29日には全長4~7cmの仔魚5個体を採集した。これら採集されたものゝ中全長20cm以上の成魚は何れも沼に於て捕獲され、20cm以下の仔魚の多くは沼周辺の灌漑溝或は水田等より捕獲された。'56年9月に採集されたものゝ中、全長6.8cmの個体は明に3対の鬚を備え、全長8cm前後の4個体には1対の下顎第2鬚の痕跡が認められ、'57年の全長5cm以下の4個体は下顎第2鬚を持ち、全長6.5cm前後の3個体は下顎第2鬚の痕跡を保っていた。また'56年7月に採集された全長40~50cmの雌魚中の2個体の腹腔内には可なり成熟した緑黄色の卵を認める事が出来、他の雌個体も殆んどが良く発達した卵巣を備えていた。

**食性** 本種魚類は主に肉食性で極めて貪食な食性を有し、捕獲時多量の餌料を捕食して居るも、消化力極めて強く、実験室に持ち帰る間に殆んど消化され、捕食物中その形態を止めるものは極く僅であった。しかしこれらの中比較的明瞭にその形態を認知し得たものを記せば、第1表の如くである。

本種の最も多量に捕食せるものは魚肉片並びにマドジョウであり、これら魚肉片中にもマドジョ



第2図 成熟した雌ナマズ卵巣  
a) 左卵巣      b) 右卵巣

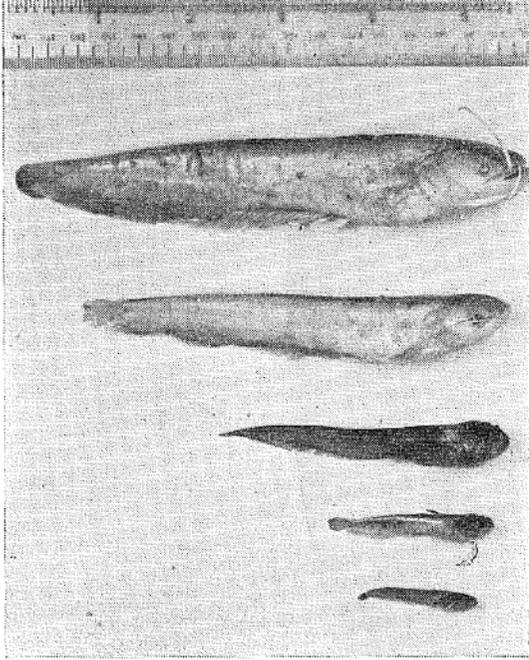
第1表 西八丁目沼及びその周辺のナマズの捕食内容

捕食内容物	動物性					植物性	
	魚肉片	マド ジョウ	環形 動物	昆虫 (成虫)	昆虫 (幼虫)	草片	水苔類
捕食個体数	16	12	4	4	2	2	1

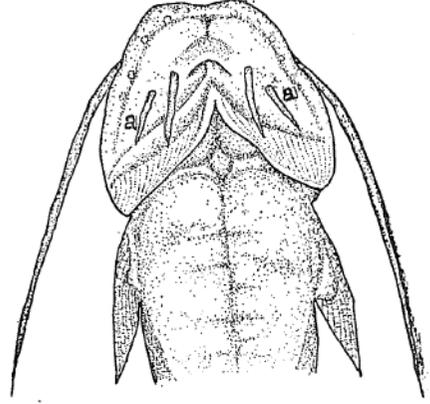
ウの肉片と思われるものが可なり認められた。この様に同一地域に棲息せる魚類中マドジョウを捕食せる個体の多かつた事は、本種魚類の習性よりみれば当然とも考えられるが、マドジョウ、ナマズ共に嘗て北海道に棲息していないとされた魚類であるだけに興味のある事実と考えた。

**ナマズの繁殖と棲息起源に関する考察** 採集結果に示した如く、本調査地域である西八丁目沼には極めて多数のナマズが棲息する事を実際に知り得たが、当地方の人達の語る処によれば、江部乙地方に点在する他の各沼にも、これと同様、本種の多数の棲息が認められる如くであつた。この様に当地方に多数のナマズが棲息する事は、この地方に於て本種が繁殖を行つている結果とみななければならない。この事実を裏書する如く、筆者等は、その調査期間中に下顎第2鬚を有し、孵化後1乃至2ヶ月を経過するに過ぎないと思われる仔魚5個体、下顎第2鬚の痕跡を保つ仔魚6個体を捕獲している。またこれら仔魚の採集場所が、水田及び灌漑溝であつた処より、当地方に於ても佐藤、山崎（1956）の報告に記された弘前地方の本種の繁殖場所と略同様な地域に於て繁殖が行われるものゝ如く思われる。水田、灌漑溝等に於て産卵された卵は、孵化後同地で成長を続け、水田の水を

落す9月中旬より下旬に亘り、灌漑溝を下つて沼に入るものと考え。更に当地に於ける本種の繁殖期に就ては、7月及び9月の両採集により捕獲した仔魚の成長状態、雌魚の卵の成熟状態等より



第3図 仔ナマズの成長段階



第4図 3対の鬚を有する仔ナマズの腹面  
a 下顎第2鬚

いる所とは云え、この様な成長をなす迄には相当長い年数を必要とする事は確である。本調査時、当地に於て聞く処によれば、石狩川本流の改修により、雨竜沼形成時、この沼に本州よりワカサギを移し、この種魚類の養殖を企てた事があつたとの事で、この時期が丁度15、16年以前にあつてゐる。或はこの時期にワカサギに混入して沼に放たれたナマズが現在の様に当地方一帯に増殖したものではないかと考えた。何れにしても現在では当地方は本種魚類の一大棲息地となつて居り、これらの内、いくらかは石狩川本流に泳出し、石狩川水系に分布しつゝある事は明確で、石狩川水系に於けるナマズの棲息は、当江部乙地方にその源を發しているのではないかと推察した。

### 要 約

石狩川流域の江部乙町の沼に於て、全長4cmから65.3cm迄の間のナマズ約100個体を捕獲し得た。これらの中、下顎第2鬚を有した4個体の仔魚と、可なり成熟した卵を持つ2個体の雌魚を認める事が出来た。以上の事実から、この地方に於て本種魚類が産卵をなすものゝ如く思われる。またこの地方に於て採集したナマズは主にマドジョウを捕食していた。

### 文 献

- 阿刀田研二, 1935: 鯰の稚魚及び卵, 動雑, Voll. 47, pp. 228~230.  
松原喜代松, 1955: 魚類の形態と検索 I, 石崎書店刊.  
Okada, Y., 1955: Fishes of Japan. Maruzen.  
Okada, Y., & H. Ikeda, 1938: Contribution to the study of the fresh water fish fauna of Hokkaido, Japan. Sci. Rep. Tokyo Bunrika Daigaku, Voll. 3, pp. 133~162.  
岡田弥一郎, 松原喜代松, 1938: 日本魚類検索, 三省堂刊.

## 石狩川流域のナマズに就て

岡田弥一郎, 中村守純, 1948 : 日本の淡水魚, 日本出版社刊.

Saito, S. & K. Yokoi, 1955 : On the fresh catfish, *Parasilurus asotus* (L.) from Hokkaido. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. Voll. 5, pp. 336~337.

Sato, S. & K. Kobayashi, 1954 : Notes on the ichthyofauna of the fresh water in Hokkaido, Japan. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. Voll. 4, pp. 268~272.

佐藤光雄, 山崎五郎, 1956 : ナマズの発生経過, 動雑, Voll. 65, pp. 325~328.

田中茂穂, 1928 : 日本魚類図説, 丸善刊.

### Résumé

The authors collected many catfish, *Parasilurus asotus* (Linné), from 4 cm to 65.3 cm in total length, in some bogs in Ebeotsu in the lower region of the river Ishikari. Among these specimens were found young fish which have 3 pairs of barbels and the female fish matured of eggs. From the above circumstances, the authors think that the catfish breed in the Ebeotsu region.

The fish are carnivorous, a good many of them feed on mud loach, *Misgurnus anguillicaudatus* (Cantor).

石狩川流域のナマズに就て

附表 江部乙町西8丁目沼及び周辺地で採集したナマズの測定結果(単位mm)

個体 番号	全長	体長	頭部	体幹	尾部	眼径	体高	体幅	上顎鰭	第一 下顎鰭	第二 下顎鰭	採集 年月日
1	653	586	144	105	337	9	91	104	115	37		'56. 7. 12
2	175	158	38	32	88	3	32	33	44	15		"
3	189	168	39	36	93	4	36	32	45	16		"
4	129	117	29	24	64	3	20	27	37	14		"
5	192	175	38	36	101	4	28	33	45	16		'56. 8. 10
6	538	480	104	114	266	8	59	85	83	30		"
7	410	371	68	97	206	7	54	61	54	24		"
8	356	324	73	64	187	6	49	55	46	18		"
9	184	166	42	33	95	4	35	34	46	17		'56. 9. 5
10	174	157	38	33	86	2	28	29	42	14		"
11	151	137	33	25	79	3	28	24	31	12		"
12	198	179	43	30	106	3	33	35	48	17		"
13	167	151	40	27	84	3	31	33	36	15		"
14	168	153	35	33	85	2	22	31	51	17		"
15	182	165	40	31	94	3	29	29	42	14		"
16	144	130	34	25	71	2	23	25	32	12		"
17	167	152	37	31	84	3	27	26	44	17		"
18	146	129	32	24	73	2	25	27	38	11		"
19	194	176	41	38	89	3	34	30	43	16		"
20	183	168	38	37	93	4	30	27	44	13		"
21	175	160	42	34	84	3	29	26	45	18		"
22	166	151	33	28	90	3	23	27	37	13		"
23	141	128	27	23	78	2	18	22	35	11		"
24	160	143	35	28	80	3	27	30	42	14		"
25	154	137	32	27	78	3	24	25	31	10		"
26	102	89	23	24	42	2	17	17	27	8		"
27	121	108	26	23	59	2	21	17	28	10		"
28	147	132	32	33	67	3	23	24	43	11		"
29	176	160	35	36	89	3	37	30	44	15		"
30	438	393	73	103	223	7	55	67	51	24		"
31	156	144	42	25	77	4	21	32	42	12		"
32	137	124	30	25	69	3	20	23	36	14		'56. 9. 18
33	170	156	36	39	83	4	25	28	42	10		"
34	157	145	35	25	85	4	24	27	37	8		"
35	71	62	15	14	33	2	11	13	14	6	痕跡	"
36	95	85	21	17	47	2	14	18	21	10		"
37	95	86	24	17	45	2	15	19	25	7		"
83	168	151	36	38	77	4	26	30	36	12		"
39	152	146	31	30	85	4	24	27	35	9		"
40	75	65	18	14	33	2	12	14	15	7	痕跡	"
41	164	142	36	27	89	3	24	32	41	12		"
42	162	146	36	27	83	4	29	30	41	15		"
43	130	115	28	25	62	3	20	23	29	11		"
44	150	134	32	28	74	3	24	28	39	13		"

小林 弘・安達栄徳

個体 番号	全 長	体 長	頭 部	体 幹	尾 部	眼径	体高	体 幅	上顎鬚	第一 下顎鬚	第二 下顎鬚	採 集 年月日
45	154	138	33	34	71	3	27	32	38	16		'56. 9. 18
46	91	81	20	17	44	2	14	17	25	8		"
47	95	85	22	18	45	2	16	17	23	8		"
48	110	100	23	21	56	3	20	17	20	8		"
49	162	146	36	28	82	4	28	24	25	11		"
50	124	110	26	19	65	3	19	22	34	12		"
51	82	70	20	16	34	2	13	17	20	5	痕跡	"
52	135	120	31	28	61	3	22	24	25	11		"
53	150	134	33	27	74	3	22	27	38	14		"
54	147	132	31	24	67	3	22	22	34	17		"
55	157	141	32	32	77	4	21	28	33	12		"
56	111	100	24	19	57	2	18	21	27	10		"
57	143	126	28	28	70	3	23	27	27	13		"
58	109	98	22	18	58	2	15	18	20	8		"
59	99	88	21	18	49	2	14	18	17	7		"
60	202	184	45	38	102	4	30	35	42	17		"
61	238	218	54	45	119	5	33	35	46	18		"
62	89	79	21	18	40	2	12	18	23	7		"
63	175	161	37	26	88	3	30	31	45	16		"
64	171	157	38	27	92	3	28	29	45	15		"
65	163	147	36	29	82	3	24	24	33	12		"
66	176	159	36	28	95	4	26	29	44	17		"
67	190	171	42	36	83	4	31	30	50	17		"
68	168	158	36	25	97	4	27	29	34	12		"
69	145	130	33	26	71	3	23	22	32	11		"
70	69	60	16	14	30	2	12	14	15	6	痕跡	"
71	194	176	42	29	105	4	31	32	51	15		"
72	184	165	43	31	91	4	31	33	42	16		"
73	120	108	29	19	60	3	18	21	30	11		"
74	68	59	16	13	30	2	11	12	13	5	2	"
75	42	37	9	8	20	1	6	8	10	4	3	'57. 7. 14
76	40	36	10	7	19	1	7	7	11	4	2	"
77	41	37	11	7	19	1	7	8	12	5	2	'57. 7. 29
78	40	35	10	7	18	1	6	7	9	5	3	"
79	64	58	16	13	29	2	12	12	17	5	痕跡	"
80	69	60	16	14	30	2	13	12	17	5	痕跡	"